

地学 2 - 04 (高校用)

- 1** ・石灰岩は主に(**生物の遺骸**)が(**たい積**)して固まってできた岩石です。
- ・石灰岩は(**炭酸カルシウム**)を主成分とし、雨水などで少しずつ溶けていきます。
- ・石灰岩が分布している地域は、雨水による溶食作用がはたらいて、溶け残った岩塊が点在している(**カレンフェルト**)と呼ばれる地形となります。
- ・石灰岩の岩塊の表面に溶食作用でできた溝状のくぼみを(**カレン**)といいます。

植物 2 - 04 (高校用)

- 1** 岡山県の石灰岩台地上には、アカマツ、アベマキ、コナラ、ナラガシワなどからなる二次林が広がっています。スダジイとタブノキは暖帯の照葉樹林を構成する主要樹種、ブナは温帯の夏緑樹林を構成する主要樹種、ハイマツは寒帯の低木林を構成する主要樹種です。

2 春植物

外国ではスプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれることもあります。阿哲の石灰岩台地上では、ほかにニリンソウ、セツブンソウ、ヤマブキソウ、ホソバナコバイモ、キバナノアマナなどが見られます。

昆虫2 - 04 (高校用)

1 ゲンゴロウ：農薬・護岸工事などに加え，外来魚などによる捕食圧を受けて姿を消したと考えられる。

(ほかにも多数正解あり。ほかの解答例は第2展示室の「自然は変わる」，「岡山県で減っているいきものと増えているいきもの」をご覧ください)

動物2 - 04 (高校用)

1 アメリカ (北アメリカでも可)

オオクチバスはスポーツフィッシング用の魚として1925年に北アメリカから移入されました。1970年代から各地に放流され，現在ではほぼ全国に広がっています。

2 在来種

オオクチバスは肉食魚で，繁殖力が強く，日本の自然に昔からすんでいる在来種の脅威となっています。

3 (皆さんが日本の自然環境保全を考えて自由に書いてください)